



営農NEWS



イチゴのハダニ類、アブラムシ類、うどんこ病などの発生に注意しましょう

病害虫発生予報 12月号（病害虫防除所）によると、イチゴの12月におけるハダニ類の発生は平年並、また、アブラムシ類は平年よりやや多く、うどんこ病は平年よりやや少ない状況で推移すると予想しています。

ハダニ類やうどんこ病などが多発生すると、防除が難しくなりますので、今後とも早期発見に努めるとともに、ミツバチや天敵などへの影響を考慮して薬剤を選択し、事前の予防や発生初期の防除に努めてください。さらに、今年もアブラムシ類がやや多い発生になっていますが、これらの病害虫に対して特効的な各種薬剤は、抵抗性や耐性菌の出現しやすい傾向がありますので、散布後には必ず防除効果を確認してください。また、気門封鎖剤（エコピタ液剤、粘着くん液剤、ムシラップなど）をローテーションの中に積極的に活用し、防除効果を安定させることが重要です。

＜ハダニ類、アブラムシ類、うどんこ病 防除のポイント＞

- 1) 発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾などを丁寧に観察してください。
- 2) 発生を確認したら、早期に薬剤防除を実施します。葉裏や下葉にもよくかかるよう、株全体に丁寧に散布します。
- 3) 既に多発生した場合には、発生葉や葉柄、果梗、果実等の病部を摘み取ってから、薬剤散布を行います。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、気門封鎖剤を除く同一分類（コード）の連続散布は避けてください。
- 5) ミツバチや天敵を放飼の場合は、薬剤の影響等について、メーカーや関係機関等から必ず指導を受けてください。

表1 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤 (令和2年12月2日現在)

| 薬剤名 | 希釈倍率 | 使用時期 / 使用回数 | ミツバチ※ | 分類 |
|--------------|--------------|---------------|-------|-----|
| コロマイト水和剤 | 2,000倍 | 収穫前日まで / 2回以内 | 1日 | 6 |
| カネマイトフロアブル | 1,000~1,500倍 | 収穫前日まで / 1回 | ○ | 20B |
| スターマイトフロアブル | 2,000倍 | 収穫前日まで / 2回以内 | 1日 | 25A |
| マイトコーネフロアブル | 1,000倍 | 収穫前日まで / 2回以内 | 1日 | 20D |
| サンヨール | 500倍 | 収穫前日まで / 6回以内 | ○ | — |
| 粘着くん液剤（デンブン） | 100倍 | 収穫前日まで / — | 1日 | — |

注1) 気門封鎖剤（粘着くんなど）利用の注意点：①薬剤により、マルチの汚れや果実薬害を生じることがあるため、各薬剤の特性をよく確認する。②ハダニ類等に直接かからないと効果がないため、株全体に丁寧に散布する。③ハダニ類成虫には有効ですが、卵には十分な効果がないため、残った卵からふ化した成虫を防除するためには、5~7日間隔で複数回散布する。

注2) 表1、2、3のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針（令和2年版）より抜粋しました。
○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件（温度、換気等）により日数の前後することがあり注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

注3) 表1、2、3の分類欄には、IRAC または FRAC コードを記載しました（コードが2つは、混合剤です）。

表2 イチゴ アブラムシ類の主な防除薬剤 (令和2年12月2日現在)

| 薬剤名 | 希釈倍率 | 使用時期 / 使用回数 | ミツバチ※ | 分類 |
|------------|--------------|---------------|-------|----|
| ウララDF | 2,000~4,000倍 | 収穫前日まで / 2回以内 | ○ | 29 |
| モスピラン顆粒水溶剤 | 2,000~4,000倍 | 収穫前日まで / 2回以内 | 1日 | 4A |
| モベントフロアブル | 2,000倍 | 収穫前日まで / 3回以内 | 1日 | 23 |
| サンヨール | 500倍 | 収穫前日まで / 6回以内 | ○ | — |

表3 イチゴ うどんこ病の主な防除薬剤 (令和2年12月2日現在)

| 薬剤名 | 希釈倍率 | 使用時期 / 使用回数 | ミツバチ※ | 分類 |
|-------------|--------------|---------------|-------|-------|
| フルピカフロアブル | 2,000~3,000倍 | 収穫前日まで / 3回以内 | 1日 | 9 |
| アフェットフロアブル | 2,000倍 | 収穫前日まで / 3回以内 | 1日 | 7 |
| トリフミン水和剤 | 3,000~5,000倍 | 収穫前日まで / 5回以内 | ○ | 3 |
| パンチョTF顆粒水和剤 | 2,000倍 | 収穫前日まで / 2回以内 | ○ | U6と3 |
| サンヨール | 500~1,000倍 | 収穫前日まで / 6回以内 | ○ | — |
| ジーファイン水和剤 | 750~1,000倍 | 収穫前日まで / — | ○ | NCとM1 |

※ その他、硫黄粒剤のくん煙処理が可能ですが、その際は専用の電気加熱式くん煙器を利用してください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040